

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.24
令和5年2月27日
文責：校長 松野克己

6年生を送る会



2月24日(金)に6年生を送る会を行いました。昨年度は編集した録画映像を使用しましたが、今年度は3部構成にして体育館で、それぞれの学年の発表を行いました。第1部が2年生と4年生の発表を6年生に披露し、第2部は1・3・5年生、そして、第3部は全校児童を体育館に入れて6年生の発表と校旗引き継ぎを行いました。それぞれの学年が工夫した内容の発表で6年生への感謝を伝え、6年生は学校生活におけるきまりを寸劇風の発表で伝えてくれました。発表する



側は、ビデオと違って見せる緊張感がありますが、その分、反応も感じ取ることができます。相手意識によって意欲も高まります。改めて集合形式の集会のよさを感じとることができました。

今年の6年生、とても仲がよく、笑顔が多く、いつも明るいいい雰囲気です。学校生活を過ごしていました。また、運動会などの行事では、自分たちならではの工夫を取り入れていました。そういう日常の過ごし方が、そのまま下級生のお手本となっており、最上級生らしさを自然体で示してくれたように感じます。5年生が最上級生になっても、日頃の生活の中で下級生を導いてくれるような姿を期待しています。

佐志小 <唐津市>

みんなの夢

その6年生の「みんなの夢」が2月23日の佐賀新聞に掲載されました。

6年1組(25人)

荒川 煌	看護師になっていろんな人を助けたい
井手虎之介	美容師になってみんなを笑顔にしたい
内田 陸	やさしいゆうびんきよく員になりたい
江頭 聖翔	気象予報士になりみんなの役に立ちたい
風本 翔雅	人を笑わせられる医者になりたい
北方 聖也	尊敬されるようなサッカー選手になりたい
熊本 明紗	喜んでもらえるケーキデザイナーになりたい
高崎 風音	美容師になってたくさんの人を幸せにしたい
武田 来我	やさしいおとなになりたい
谷河 莉音	ラグビー選手になって国を代表して戦いたい
釣舟 珠羽	世界から認められるボクサーになりたい
釣舟 瑠羽	みんながあこがれるボクシング王者になりたい
中塚 寧々	看護師になってたくさんの人を元気にしたい!
中山陽菜乃	子どもを全力で楽しませる保育士になりたい



野寄 成謙	みんながみとめるNBA選手になりたい
野崎 迪也	声優になってみんなを元気にしたい
早瀬 朱莉	獣医師になって飼い主や動物に夢をもたせたい
平田 心優	アニメーターになって世界中にとどけたい
堀川 結衣	人に優しく心が広い大人になりたい
本多 柚希	みんなが面白いと思える漫画家になりたい
宮崎 千歩	医師になってたくさんの人に夢をもたせたい
山岡 蓮	デザイナーになってキャラクターを描きたい

山口 權	じゅう医になってたくさん動物を助けたい
吉岡 華	デザイナーになってみんなを笑顔にさせたい
渡邊 涼	建築士になってお客さんが喜ぶ家をつくりたい

先生のひと言

谷口 璃奈教諭
人生を楽しむのは自分次第。人との出会いを大切に、目標に向かって楽しいと思う道を選んで下さい。チェゴ!! ☆

6年2組(23人)

伊藤 圭吾 看護師になって困っている人を助けたい
伊藤 虎雅 海外でも注目されるプロ野球選手になる
岩田 姫奏 今までで一番すごいと言われる漫画家になる
岩本 大煌 ゲームクリエイターになり楽しいゲームを作る
上野 良太 WEBデザイナーになり魅力的なサイトを作る
門川 梨沙 美容師になってたくさんの人を笑顔にしたい
古賀 愛唯 人を守り人を幸せにするSPになりたい
小島 璃華 多くの患者を笑顔にできる歯医者になりたい
近藤いのり みんなが安心して頼れる保育士になりたい
白川 莉一 暮らしを支える土木の仕事と農業を両立したい
瀬戸愛々子 僧侶になってみんなを助けて役にたつ
多田 詩月 人を助けて笑顔にできる看護師になりたい
田中 聖菜 多くの人を笑顔にできるパティシエになりたい
中尾 空虹 人気のメイクアップアーティストになる



野崎 真虎 みんなに応援されるプロ野球選手になりたい
古川 勢流 世界で活躍できるNBA選手になりたい
宮崎 隼翔 大工さんになりカッコいい家を作りたい
宮崎 望音 お客様の要求に対応できる美容師になりたい
森園 実桜 パティシエになってみんなを笑顔にしたい
山口 一樹 全員に期待される一流のプロ野球選手になる
横山 詢 きれいな風景をとるカメラマンになりたい

横山 大輝 プロサッカー選手になって世界でプレイしたい
吉田 航平 公務員になって地域住民を守りたい

先生のひと言

加山 桃子教諭
支え合いながら何事にも全力で取り組んできましたね。これからも人とのつながりを大切に笑顔全開でつき進んでください。

501「みんなで輪くぐり」県ナンバーワン



県教委委員会が学校での体力向上に向けて取り組んでいる「スポーツチャレンジ」という簡単な団体競技があります。この佐志小でも平成28年から積極的に取り組んできて、これまで何度も表彰されています。今年度、5年1組が「みんなで輪くぐり」という競技で、5年生の部佐賀県ナンバーワンとなり、2月21日に学校で表彰が行われました。この競技は10人が手をつないだまま1つのフラフープを順にくぐっていくもので、柔軟性とスピード、さらに失敗を許し合い励まし合う寛容な態度や協調性も必要とされます。体力作りとともに人格形成や学級作りにもたいへん有効です。今後も多くの学級で、直接は見えない県内の同級生と競い合って、体力とチームワークを高めていって欲しいものです。
※中央にいらっしゃるの、県教委に在籍されながら佐賀工業ラグビー部総監督をお務めの小城博さんです。

人権集会(性の多様性)



2月20日(月)の午後、下学年と上学年に分けて、人権集会を行いました。今回は春日北小の小林誠さんを講師にお招きして、性の多様性についての理解を深めました。性の多様性については、特にここ1〜2年、様々な場で取り上げられることが多くなり、これまでの認識を一度リセットして、いわゆる体の性別と心の性は必ずしも一致しないことを知り、それに対する偏見をなくすことが求められるようになってきました。子供は固まった認識をもちませんから、わりとすんなりと受け入れられます。もしかしたら、私たち大人の方が勉強しなければならない人権課題なのかもしれません。